

トピックス

謝恩価格本フェア出展社募集開始	1
日仏イベント参加者募集	1
第64回マス倫懇全国大会	2
本の日キャンペーン	2

一般社団法人日本書籍出版協会

謝恩価格本フェア 出展社募集開始！

(一社)日本書籍出版協会(小野寺優理事長)は、再販制度の弾力運用の一環として、第38回「出版社共同企画 期間限定 インターネット限定 謝恩価格本フェア」を「読書週間」(10月27日～11月9日)を中心にした10月24日(月)から12月24日(土)まで開催する。商品は本体価格の45%引きで販売され、今回も仕入れ・清算・返品は楽天ブックスネットワーク、読者への販売等は楽天ブックスが行なう。

募集概要は、日本書籍出版協会ホームページ(<http://www.jbpa.or.jp>)に公開されており、多くの出版社の参加を求めている。対象商品は、発行後1年以上を経過した良本で商品にISBNが明記されている書籍、ムック、マルチメディア商品等(ジャンルは不問だが、古いカレンダー・手帳はご遠慮いただきたい)。

◆申込み方法◆ 8月26日(金)までに書協宛(shaon@jbpa.or.jp)にメールで送付。申込を受け付け次第、スケジュール等を申込社に返送する。

◇第37回報告：

「子どもの読書週間」を中心に、4月15日から6月15日まで、第37回フェアを開催し、出版社115社・4,716タイトル(過去最高)を本体価格の45%引きで販売した。

売上金額は約1,762万円、返品率は25%であった。今回の売上金額減少の要因としては、昨年は新型コロナウイルス流行による巣ごもり需要があったが、今年は行動制限の緩和がありGWは天気が良くレジャーや旅行など読書以外の消費が増えたことなどが挙げられる。

売上冊数のジャンル別の主な内訳は、「絵本・児童書・図鑑」25.7%、「美容・暮らし・健康・料理」17.7%、「ホビー・スポーツ・美術」17.1%、「人文・思想・社会」10.8%、「語学・学習参考書」10.2%。

(問合せ 日本書籍出版協会 TEL 03-6273-7061)

日仏書籍のプレゼンイベント 日本側参加出版社募集中！



vivre
les
cultures

(※延期していた日程が決定したため、再掲いたします)

日本とフランスの出版社による、翻訳を目的とした双方の書籍紹介プログラム「日仏出版界プロフェッショナル交流会」(主催：国際フランス出版事務所、在日フランス大使館アンステイチュ・フランセ日本)が10月6日に開催される。本イベントは両国の翻訳出版の促進につなげることを目指し、現在、日本から翻訳を希望する書籍のプレゼンターとなる出版担当者の募集を行っている。日本側はアンステイチュ・フランセ(飯田橋)を会場に、フランス側はオンライン参加となる。概要は以下の通り。

■日仏出版界プロフェッショナル交流会

日時：10月6日(木) 16時～19時15分

会場：アンステイチュ・フランセ東京(東京・飯田橋)

発表者(予定)：日仏出版社・エージェント、国際フランス出版事務局(BIEF)、アンステイチュ・フランセ日本

言語：日仏同時通訳

参加対象：日本の出版社/出版関係者

※フランスに著作権を輸出したい国内出版社/フランスの書籍を翻訳化したい国内出版社

対象書籍テーマ(ジャンル)：

- 1：女性/フェミニズム/ペアレント(親としての教養書/育児関連)/SDG5
- 2：推理小説/SF/バンドデシネ(漫画)

開催概要 (案内資料)

日仏出版社からそれぞれ、上記のテーマに沿った書籍を1作品約2分で紹介。上記「1」「2」のテーマで両国の出版社からそれぞれ10名・10作品の書籍紹介を予定。(紹介作品、紹介点数など主催者側で調整の可能性あり)。同時通訳がつかうので、日本語での発表が可能。

(申込・問合せ先) ※問合せ時は両社に連絡

在日フランス大使館 担当・西口

E-Mail:yuki.nishiguchi@institutfrancais.jp

日本書籍出版協会担当・吉野

E-Mail:jbpa.international@jbpa.or.jp

第64回マス倫懇全国大会 盛岡市で開催

第64回マスコミ倫理懇談会全国協議会全国大会（主催：マスコミ倫理懇談会全国協議会＝マス倫懇）が、岩手県盛岡市の「ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING」で9月29日（木）・30日（金）の両日開催される。今年の大会テーマは「『コロナ』『戦争』『フェイク』『災害』私たちは立ち向かっているか」。

1日目午前は、林恭一・マスコミ倫理懇談会全国協議会代表理事の「開会あいさつ」、東根千万億・岩手日報社代表取締役社長の「開催地代表あいさつ」の後、大会議長・分科会座長団を選出し、続いて「災害・戦災の記憶を未来につなぐデジタルアーカイブ」をテーマに渡邊英徳氏（東京大学大学院情報学環教授）が記念講演を行う。

午後は分科会、A「東日本大震災 11年の報道で見た課題と次への備え」(仮) B「原発事故をどう伝え続けるか」 C「実名報道—新たな倫理構築に向けて」 D「新型コロナ報道の検証」 E「メディア企業はネットをどう利用するか」 F「ジェンダー平等に向けて」(*座長=矢部正秋氏/集英社 編集総務部部次長) G広告関連「『勇気』が湧く広告とは」が各々開かれる。

2日目午前は、分科会座長報告の後、「大会申し合わせ」を採択し、大会終了となる。午後は日帰りコース（「ハロウ安比校」見学、他）と被災地1泊コース（釜石市、陸前高田市等の視察）に分かれて希望社による視察が行われる。

参加対象者：マスコミ倫理懇談会会員限定

参加費：リアル参加20,000円

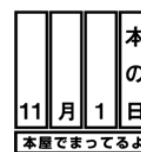
オンライン参加10,000円（1分科会）

※視察経費は別途

参加締切：9月1日（木）

（問合せ マス倫懇事務局 TEL 03-3591-3465）

本の日キャンペーン 様々な取り組みを実施



11月1日の「本の日」に向け、その日を中心に、全国の書店へ足を運んでもらえるよう、今年も様々な取り組みを展開している。

■読書週間×本の日 秋の読者還元祭2022

内容：10月27日（木）～11月11日（金）に書店に来店した方にプレゼントキャンペーンを実施（応募受付は11月18日（金）まで）

対象：全国書店（図書カード取扱店）

応募：キャンペーンポスターを書店に送付。店頭掲出ポスター、応募しおりに記載の二次元バーコードを読み取り
賞品：「図書カードNEXT ネットギフト」が抽選で総額500万円分当たる

■「本の日」イベント助成金獲得企画 申請受付

「本の日」期間中に書店への来客促進を目的とし、書店でイベントを実施する場合に、奨励金として最大5万円を助成する。

・イベント期間：10月1日（土）～11月30日（水）の期間で行う「本の日」イベント

・助成金額：上限5万円、限定30法人

・申請書受付期間：8月1日（月）～8月31日（水）

・詳細・問合せ先は[こちら](#)を参照

■ブックカバー大賞

「本の日」から全国の書店で配るブックカバーのデザインを募集中。大賞作品は文庫用ブックカバーにして、11月1日より全国の参加書店で配布。デザインのテーマは「本を持って出かけたくなるブックカバー」。

・応募資格 本が好きな人

・募集内容 未発表オリジナルの文庫用ブックカバーデザイン

・募集期間 7月15日（金）～8月31日（水）

・入賞作品発表 10月27日（木）

詳細、応募方法は[こちら](#)を参照

その他のイベントも企画しており、決定次第、公式サイトやSNS・Twitterでも公開していく。

公式サイト：<https://honnohi.com/>

（問合せ 同実行委員会 TEL 03-3294-0388）

出版統計

書籍	6月期	前年同月比	1~6月期	前年同期比	書籍出回り	6月期	前年同期比	1~6月期	前年同期比
新刊点数	5,619点	99.8	32,940点	94.5	推定出回数	6,063万冊	90.5	40,429万冊	94.2
新刊推定発行部数	2,151万冊	92.2	13,142万冊	96.2	推定出回金額	742億円	92.2	5,103億円	95.7
新刊平均価格	1,255円	105.0	1,253円	101.2	推定出回平均価格	1,224円	102.0	1,262円	101.5
新刊推定発行金額	270億円	96.9	1,646億円	97.4	実売部数	6月期	前年同期比	1~6月期	前年同期比
月刊誌	6月期	前年同月比	1~6月期	前年同期比	書籍	3,450万冊	87.8	26,935万冊	94.1
発行銘柄数	1,845点	97.0	2,339点	97.7	月刊誌	4,989万冊	81.3	29,347万冊	82.8
推定発行部数	8,288万冊	81.6	49,305万冊	84.6	週刊誌	1,739万冊	98.5	10,181万冊	91.4
平均価格	712円	106.0	698円	105.1	実売金額	6月期	前年同期比	1~6月期	前年同期比
推定発行金額	590億円	86.5	3,440億円	88.8	書籍	441億円	89.8	3,526億円	95.7
週刊誌	6月期	前年同月比	1~6月期	前年同期比	月刊誌	353億円	86.5	2,033億円	87.2
発行銘柄数	73点	97.3	78点	98.7	週刊誌	68億円	101.3	401億円	93.7
推定発行部数	3,046万冊	95.6	17,475万冊	90.5	実売金額合計	862億円	89.2	5,961億円	92.5
平均価格	409円	102.8	404円	102.0					
推定発行金額	125億円	98.1	707億円	92.5					

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[提供 出版科学研究所 (TEL03-3269-1379)]

INFORMATION

「Japan Book Bank」サイトリニューアル

特定非営利活動法人映像産業振興機構 (=VIPO) ・日本書籍出版協会が共同運営している、日本の出版コンテンツを日・英二か国語で検索できるオンラインカタログサイト「Japan Book Bank」 (=JBB) が、2022年7月12日(火)にユーティリティ向上を目的にリニューアル公開した。現在JBBには国内出版社130社より、3,000点を超える出版物が登録され、海外での翻訳出版や映像化に向けた情報発信を行っている。立ち上げ以降の実績は、バイヤーID登録者：52カ国330名超、問い合わせ件数：380件以上、JBBを通じた翻訳出版成約件数：42件となっている。

今回はサイトのリニューアルに加え、英語ページには日本の出版作品等に関するニュースや記事を海外に向けリリースし、また米国出版業界誌「Publishers Weekly」とも連携して日本の出版情報の海外への発信力強化を図っている。JBBでは、国内出版社に向けて、海外への商談ツールのひとつとして本サイトの活用を呼び掛けている。

(問合せ VIPO E-Mail: jbb@vipo.or.jp)

編集後記

本誌が配信された1週間後には、お盆シーズンですね。賢く夏休みは分散するということも多くなったのではないのでしょうか。9月から秋にかけては出版関連のイベントも多く開催されます。我々事務局も、9月の造本装幀コンクールの授賞式や10月の海外ブックフェアの準備で慌ただしい毎日を送っています。気を緩めずに、健康にも気を使いながら乗り切りたいと思います。皆さまも夏バテなどにはくれぐれもお気を付けください。(あ・吉)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人: 樋口清一

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

TEL : 03-6273-7061

FAX: 03-6811-0959

Web サイトもご覧ください

<https://www.jbpa.or.jp>